

きゅうせいしゅっけつせいけつまくえん
急性出血性結膜炎

【急性出血性結膜炎とは...】

ウイルスが角膜と結膜に感染して起こります。この結膜炎は症状が非常に強く、涙がたくさん出て、目に何かが入っているようにコロコロします。

【原因は？】

エンテロウイルス70型というウイルスが感染して起こります。感染して1～2日で結膜炎が起こってきます。

【治療】

このウイルスを治す目薬や飲み薬はありません。そこで、二次感染を防止するための抗生物質の点眼と、角膜混濁を防止するためのステロイドの点眼を行います。角膜の混濁は一度生じると1～2年にわたって続き、長い間目がかすみまますから目薬は正しく点眼するようにして下さい。

【経過】

治るのは早く、1週間くらいで治ります。

【注意点】

この結膜炎は人にうつりやすいので充分気を付けて下さい。とくに涙やめやにから他の人にうつります。ほかの人への感染を防ぐために、石鹸でよく手を洗って下さい。家族ともタオルを別にして、風呂は最後にはいるようにした方がよいでしょう。また、プールには、入ってはいけません。職場、学校での感染の危険も高いので、1～2週間くらいは休む方が感染予防の立場からは望ましいです。

日帰り白内障手術施設

眼科 中橋クリニック



7 5 2 - 8 8 1 8